

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

現状の景気回復は持続可能ではない 野口 悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 日本銀行が発表した9月の企業短期経済観測調査(短観)において、全規模合計の業況判断指数(D1)は、6月の▲2から、9月には2に改善した。これは、日本経済の復調を示すものと受け取られている。これを受けて、安倍晋三首相は、消費税の引き上げを最終的に決定した。しかし、これをもって日本経済が全体として順調な回復軌道に乗ったと考えてよいかどうかである。それは、実は大きな疑問である。
2. 現状(大企業中心の景気回復)をまとめれば、次の通りだ。(1)円安による利益増によって、大企業製造業の景況感が著しく回復している。しかし、製造業でも原材料費率の高い産業では円安のマイナス効果が出ている。そして、円安による利益は大企業に偏っており、製造業の中小企業は、依然としてD1がマイナスだ。
3. (2)住宅建設と公共事業の一時的な急増により不動産と建設業の景況感が著しく回復している。しかし、中小企業の景況感は依然として厳しい。(3)このように、現在の日本の景気回復は経済の一部に偏った現象である。重要なのは、これが持続可能な回復ではないことだ。為替レートの行方は、アメリカ金融緩和政策の終了に大きく依存しており、円高方向への回帰が起これば、輸出産業の利益は蒸発する。また、住宅や公共事業の支えは、いずれなくなる。そうなれば、不動産業や建設業も失速する。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2013年10月19日号)

経営者のための経済学

増える訪日外国人の経済効果

1. 日本を訪れる外国人の数が増えている。2013年1月～8月の訪日外国人の数は、686万人と前年同期と比べて2割も増え、2013年の目標とした1000万人も視野に入ってきた。また、2020年の夏季五輪の開催決定を受け、政府は外国人観光客を2030年には3000万人超まで増やす目標を掲げた。仮に訪日外国人が1000万人増えた場合、日本経済にどの程度の経済効果があるのか。
2. 観光庁の試算によると、最も大きな経済効果を受けるのは、宿泊代。波及効果も含めると4800億円弱の押し上げが期待できる。次に大きいのが飲食代で約3100億円、洋服や靴などの買い物で1560億円、交通費は1400億円と見込まれる。日本経済全体に与える効果は合計で1兆5700億円となる。しかし、五輪開催それだけで外国人の増加につながるとは限らない。むしろ、地方への観光客を増やすことが必要だ。

(参考:「日経ビジネス」:2013年10月14日号)

経営者のための危機管理

ブラック企業の特徴

1. ブラック企業について明確な定義はない。ただ、今年7月に結成されたブラック企業被害対策弁護団のホームページは、次のように説明する。「新産業において、若者を大量に採用し、過重労働・違法労働によって使い潰して次々と離職に追い込む成長大企業」。
2. 厚生労働省も似たような意味で用いている。すなわち賃金の不払い残業や、パワーハラスメント、過重労働によって、採用した若者の徹底的な選別を行う行為が、ひとまずブラック企業の大きな特徴だといえるだろう。

(参考:「週刊東洋経済」2013年10月12日号)

古典に学ぶ

「道」は用いてこそ価値がある

(解説) 万物の根元たる「道」にのっとって政治をとれば、摩擦はいっさい起こらず、天下は平穏である。快い音楽が聞こえ、うまいご馳走が目につけば、道行くひとは足を止めるだろう。だがこの「道」たるや、語って聞かせてもまことに淡泊で、味もそっけもない。眼を喜ばせることもなければ、耳を楽しませることもない。「道」は用いられてこそ、尽きぬはたらきを示すものである。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)